

発行元  
東京新聞  
南千住東口専売所  
TEL5850-3699  
発行責任者  
鬼塚 佳代子  
TEL090-2657-0300

# すまいるたうん



汐入

第121号

平成21年

10月13日

## カッター一刃で城を成す

愛城家 長谷川進さん

「戦国武将の作った城を再現したい」

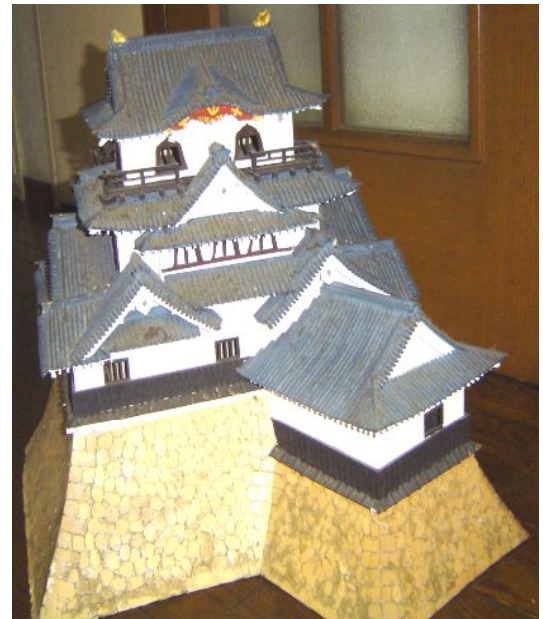
近頃、女性の歴史マニア『れきじよ（歴史）』ブーム到来が話題になっていますが、長谷川進さん（62歳・南千住7丁目在住）は10歳から城に魅せられています。ダンボールや木材をカッターで切って日本全国の城の写真やプラモデルの設計図を参考にしたり、現地に赴き写真を撮ってきて考察、瓦の数も数えて独学で精巧な縮小版の城を作ってきました。縮小版と云っても畳1畳分の大きさ、80cm四方で高さも80cmもあり、会社の倉庫に保管しているものも幾つかあります。本丸、二の丸、天守閣。石垣それぞれを見事に工夫を重ねて再現しており、細かな色塗りも丁寧な仕上がります。その精巧さで小田原の築城コンテストでは、岡山城を出展して準優勝もしています。

「自分の楽しみで造った城を多くの人に見てもらいたい」

広島城は広島原爆病院に贈呈、弘前市にも弘前城を贈呈して新発田城は、坂東

三津五郎さんに差し上げる予定です。

「便利さを追求すると、がさつな城



になる」

広義の城は全国におよそ2万5千在あり、それらの中で城郭とみなされているものが、戦国末から江戸初期まで大小3千ほどあったようです。

それが1615年の「大阪夏の陣」後の、徳川幕府の「一国一城令」により整理され、明治維新に至りました。明治維新の時にあった城の数は186で、そのうち天守閣のある城は70ほどだったそうです。明治6年（1873）の「廃城令」では更に三分の二の城郭が破却されました。残された城郭も明治政府の軍用施設に使用されたときにかなりを解体され、また第二次大戦時の爆撃の目標になり、名古屋城などが焼失し大

きな被害を蒙りました。また現代においても都市開発の進展等により、貴重な城の遺構が失われることもしばしば聞かれます。

現在も天守閣が残存している城は 青森県の弘前城 長野県の松本城等12城あります。国宝に指定されているお城は「松本城」「犬山城」「彦根城」「姫路城」があります。また世界文化遺産に指定されている城を挙げると世界で7城あります。

今、各都市の自治体ではルーツを守ることに地域起こしのために城跡の遺構遺跡の調査・発掘や整備保存が各都市の自治体の努力により漸次進められております。

長谷川さん苦心の作の高松城ができあがりました。高松市に贈呈したいのですが、手立てがわかりません。どなたか、話をうながして下さる方を探しています。東京新聞南千住専売所か、鬼塚までご連絡いただけますでしょうか。

すまいるたうんふれあい亭

18日(日) PM 2時

瑞光ひろば館1Fです。皆さんでお茶のみしながら歌を歌ったり、楽しいひと時過ごし、宗教・政治関係なくお友達を作れる場所です。

☆瑞光小の50期生（昭和13年卒業）の方を探している方がいます。ご連絡は鬼塚まで